

法学部講演会

下記の講演会を実施します。講師の柳井俊二先生は元本学法学部教授で、現在国際海洋法裁判所の判事を務めています。学生向けに、現代海洋法の基本的制度、国連海洋法条約における紛争解決手続き、国際海洋法裁判所の興味ある判例等を平易に解説していただきます。講演は豊富な事例をふまえ、現場感覚に溢れた興味深いものになるでしょう。皆さん奮ってご参加ください。

◆ **日時：2015年7月15日（水）**

2時限目（11時00分～12時30分）

※法学部 西海真樹教授「国際法総論Ⅰ」の授業内で実施します

※当日はどなたでもご参加いただけます（予約不要／途中入退場自由）

◆ **会場：多摩キャンパス 8号館 8208教室**

◆ **講演者：柳井 俊二 氏（国際海洋法裁判所判事）**

◆ **講演題目：海をめぐる国際紛争の平和的解決**

－国際海洋法裁判所の役割を中心として－

柳井 俊二氏 略歴

1937年生まれ。1961年東京大学法学部卒。外務省条約局長、海洋法本部長、国際平和協力本部事務局長、総合外交政策局長、外務審議官、外務事務次官、駐米大使を歴任。中央大学法学部・法科大学院教授（2002～2007）、早稲田大学公共経営研究科客員教授（2003～2007）、三菱電機株式会社取締役（2003～）、国際海洋法裁判所判事（2005～）、同所長（2011～2014）。論文に「日本外交における国際法」（『国際社会の法と政治』、国際法学会編、2001）、「日本のPKO—法と政治の10年史」（『法学新報』109巻5・6号、2003）、『外交激変』（朝日新聞社、2007）他多数。

